

## 市議会議員活動

早いもので、議員生活1年が経ちました。

無我夢中、あっという間。

市内・市外の視察や勉強会・研修会へ参加し学びの日々を過ごしています。

今までになかったスピードで色々なことを経験させていただいている中、議員になって見えてきたこと、生まれ育った大好きな足利を見る視点も変わってきました。自分がどのように役に立っているのか、頑張るこの一年であると感じています。

### 議会での役割

- 教育経済建設常任委員会委員
- 表彰審査委員会委員
- 青少年問題協議会委員
- スポーツ推進審議会委員

### 教育経済建設常任委員会 福井県・石川県視察

教育経済建設委員会の所管する部署は、産業観光部・都市建設部・教育委員会・農業委員会です。

今回、学力向上に向けた取り組み及び教育環境の整備ということで坂井市 丸岡南中学校の現地視察をしました。少人数学級や少人数指導、チームティーチング、教科センター方式の体制の導入によりきめ細やかな指導に努めていました。校舎はとてもしっかりとしたデザインで、とても開放的な空間で、「自主」「自立」そして「人間を育てる」ということを大切にしていると感じました。

小松市では、企業立地を促進することで、魅力ある都市基盤を形成するため、企業立地支援制度のサポート体制の充実について視察しました。

※視察報告書は足利市議会ホームページでご覧になれます。



### 第12回 全国市議会議長会研究フォーラム in 姫路色

「議会改革の実績と議会力の向上」、「議会改革をどう進めていくか」、「議会基本条例のこれからとこれまでを考える」など、大学教授の講演や代表市議会の事例を聞き、これから見えてくる課題に今後どう取り組むべきかなど、勉強してきました。

また、姫路市が周辺市町と取り組む防災訓練についての話しやひめじ防災プラザの現地視察をしました。防災に関する知識や技術など、体験しながら楽しく学べる施設となっており、一人ひとりが子どもから大人まで防災の重要性を理解し、日頃から気持ちの備えも重要であると感じました。



### 市内施設視察

7月5日  
足利市水処理センター

施設内容、下水道の役割や処理する能力について視察しました。



7月11日・8月22日  
足利市学校給食共同調理場

施設内容やアレルギー対応食について視察しました。



11月28日  
足利市南部クリーンセンター

施設内容、ごみ減量とリサイクルについて視察しました。



## 一般質問

一般質問とは、議員が市政全般について、何でも問うことができる機会です。(持ち時間30分)

9月・3月議会では子育てをしている中、肌で感じていることなど経験を生かした、子ども・子育て環境や子どもの健全育成について、地域公共交通のあり方について質問しましたので、一部をご紹介します。

議員として、女性として、ママとして、これからは様々な課題に取り組んでいきます。

**Q■** こども医療助成制度は子育て世代にとって非常に重要な支援策であり、関心も高い。平成30年度から未就学児までの医療助成に対する減額調整措置の廃止に伴い新たな財源を活用し「子育てしやすいまち足利」を具現化するため、窓口無料対象年齢を中学3年生まで拡大すべきでは？

**A■** 子育て世代からの要望は承知しているが、現時点での拡大は難しい。この問題を含め子育て世代のためにどのような施策が有効なのか総合的に検討していく。



平成29年  
予算要望も出しました！

**Q■** 近年、晩婚化からの母体の高齢化によるハイリスク妊婦も増えており、さらに言えば初めての子育てで自分がリスクを抱えているのかもわからないこともある。市外からの転入された方は知らない土地での育児をすることはとても不安が大きく、今後も子育て支援施策の充実が急務であるがどう考えるか？

**A■** 保健センター及びさいこう子育て支援センターにそれぞれ母子保健コーディネーター及び子育て支援コーディネーターを配置し、妊娠期から子育て期を通じたさまざまな相談に対応する体制を整備し、今後も切れ目なく支援していく。

平成30年度  
産後ママ安心サポート事業開始！



**Q■** スポーツ少年団は「スポーツを通してこころとからだを育てる」を理念に幅広く活動する日本最大級のスポーツ団体にも関わらず、県内25市町や両毛6市で本市だけが加入していない。本市の子どもたちも他市の子どもたちと同様に、平等にスポーツに専念できる環境を早急に整えるべきでは？

**A■** 青少年にスポーツ環境を充実させ子どもたちがスポーツを行う選択肢の一つとなるよう、同少年団の創設について関係団体と協議をしていく。

平成30年度  
スポーツ少年団本部創設 決定！



**Q■** バスが運行していない空白地帯の交通弱者などさまざまなニーズに応えるためには、生活路線バスのような路線を定めた運行方法だけでなく、地域の実情に応じた生活の「足」となるデマンド運行が有効と考えるがどうか？

**A■** 路線バスではカバーしきれない地域もあるが、柳原地区では柳原方式デマンドタクシーが地域住民の自発的な思いにより継続的に運行し、本市でも模範となるすばらしい取り組みである。このような市民力を生かしたまちづくりの流れが各地で広がってほしい。

柳原方式デマンドタクシーが運行して4年が経ちました。今では市内他地域を含め市外からも、地域の万々の知恵を結集して始まったこの柳原方式について問い合わせがあります！



協働の支援のあり方についても再質問しました！

### 【こんなことを聞きました！】

- 平成29年度 第3定例会 一般質問
- 子ども・子育て支援について
  - 子育て支援施策
  - こども医療助成制度
  - 第7次足利市総合計画に掲げた支援施策
  - 学校給食について
  - 食物アレルギー対応
  - 子どものスポーツ振興について
  - 少年期スポーツ活動の現状と課題
  - スポーツ少年団に対する考え方

### 平成30年度 第1定例会 一般質問

- 子供たちの健全育成について
- インターネットリテラシー・マナー向上の取り組み
- 食育の推進
- 地域公共交通について
- 地域公共交通のあり方

※詳しい内容は  
足利市議会ホームページをご覧ください。